



大雨・洪水に備えて

洪水浸水想定区域が見直されました。

早期の立ち退きが必要な区域

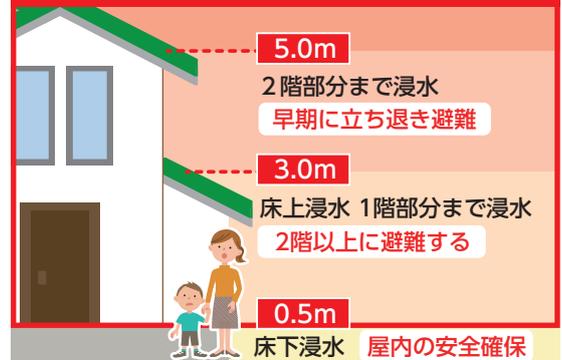
洪水浸水想定区域 (想定最大)



2階以上へ退避 (洪水浸水・土砂災害)

遠賀川洪水浸水想定区域 (想定最大雨量592mm/12時間)
国土交通省九州地方整備局告示第11号

洪水浸水想定区域 (浸水の深さ)



洪水浸水想定区域は、水防法の規定により指定された区間において、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により河川が氾濫した場合の浸水の状況を予測したものです。洪水浸水想定区域は、指定されていない区域でも浸水する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

浸水の深さを想定した避難の流れ

マップを確認

浸水の深さ

判断

ご留心

- 想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。
- 地図で自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。

0.5m未満の浸水

- 床下浸水 ● 大人のひざ下程度
- 浸水の深さがひざ上になると歩行は危険

状況に応じて

自宅にとどまる

- むやみな移動はかえって危険
- 屋内待機

0.5～3m未満の浸水

- 床上浸水
- 1階以上が浸水
- 強い水流の中を歩くことは危険

少なくとも

自宅の2階 危険のない近くの高い建物

- 自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
- 垂直避難

時間と安全な避難経路が確保されていれば

3m以上の浸水

- 2階以上が浸水
- 水流が強い場合には、木造住宅が倒壊する危険がある

必ず

浸水しない場所

- 丈夫な建物
- 高層階
- 知人や親戚宅など

避難の際の注意事項

動きやすい服装で!

動きやすく、安全な服装で、かつ、運動靴をはきましょう。長靴はやめましょう。



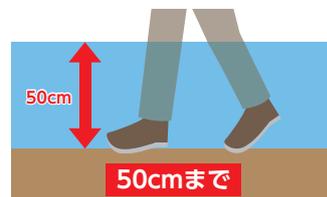
車での避難は控えて!

車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。



人が歩ける目安

水深が深い場合は無理せず高所へ避難します。



河川や水路には近づかない!

川や田んぼを見に行かないでください!

